

第139回 生涯教育研修セミナー

Web

日時 2026年6月6日(土) 午後3時～午後6時

方法 **ハイブリッド開催** ※参加費無料、事前登録制(お申込多数の場合は先着順となります。)

下記のURLまたは二次元コードにて5月31日(日)までに参加登録フォームにて参加登録をお願いいたします。
追って事務局よりzoom視聴用URLをお送りいたします。

登録後1週間以上経ってもzoom視聴用URLが届かない場合は、恐れ入りますが以下事務局までご連絡ください。

https://keio-univ.zoom.us/webinar/register/WN_bMfyV3oQRNKRxvgyZrbU6w



会場 慶應義塾大学信濃町キャンパス北里講堂(北里記念医学図書館2階)

参加対象 慶應義塾大学医学部、三四会、慶應医師会、慶應義塾大学関連・紹介病院、東京都地区医師会に所属する医師

取得単位 日本医師会生涯教育制度参加証交付 1.5単位 / 取得カリキュラムコード:0、1、7

● **開会の辞** 医学部長・慶應医学会会長 **武林 亨**

● **挨拶** 三四会会長 **武田 純三**

● **テーマ:『乳がん治療の最新情報』**

現在の乳がん診療について、最新の知見を提供する3つの専門講演を行います。第一の講演では、遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)に焦点を当て、BRCA遺伝子検査の位置づけ、サーベイランスの実践、リスク低減手術の適応について概説します。さらに乳がん診療において、がんゲノム医療がどのように活用されているかについて、遺伝診療医と主治医との連携の実際にも触れながらご講演いただきます。

続いて、乳がんに対する外科治療の最新動向を取り上げ、手術術式の選択やセンチネルリンパ節生検の適応に関する最新のアップデートなど治療選択の個別化がどのような状況であるかを解説します。

第三の講演では、複雑化する乳がんに対する薬物療法についての話題を取り上げます。ホルモン療法・化学療法・分子標的治療・免疫チェックポイント阻害剤に至るまで、乳がん薬物療法の現状と展望を総括します。サブタイプ別治療戦略、術前・術後補助療法の位置づけ、新規薬剤のエビデンスも整理し、治療選択の指針となる実践的なポイントを共有します。

本セミナーは、日々進化する乳がん診療を遺伝診療・外科手術・薬物療法の3つのポイントから解説・共有し、より質の高い医療提供に資することを目的といたします。

モデレーター：慶應義塾大学医学部 外科学教室(乳腺) 教授 **林田 哲**

● **講演**

1. 「遺伝性乳がん卵巣がん症候群の診療とがんゲノム医療」

埼玉県立がんセンター 遺伝科 科長兼診療部長 **吉田 玲子**

2. 「De-escalationへ向かう乳がん外科手術」

昭和医科大学医学部 外科学講座 乳腺外科学部門 主任教授 **林 直輝**

3. 「乳がん薬物療法の最新情報と治療の考え方」

がん研有明病院 乳腺内科部長 **高野 利実**

● **挨拶** 中外製薬株式会社 代表取締役 社長 **奥田 修**

● **閉会の辞** 生涯教育研修セミナー委員会委員長、慶應医師会会長 **佐々木 淳一**

次回予定 2026年10月24日(土)開催

【共催】

慶應義塾大学医学部生涯教育研修セミナー委員会 / 慶應医師会
慶應義塾大学医学部三四会 / 慶應医学会
中外製薬株式会社

【連絡先】

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地
慶應義塾大学信濃町キャンパス総務課内 生涯教育研修セミナー事務局
TEL.03-5363-3611 (直通) E-mail: med-somu-3@adst.keio.ac.jp